

# About Ritsumeikan University

立命館大学は、社会科学・人文科学・自然科学に跨る17\*の学部、22の研究科をもつ総合大学です。学びの関心や目的もさまざまな、約38,000人の学生が集まっています。学部ごとの学びに加え、留学、インターンシップ、資格取得、約400のクラブ・サークルなど正課外の活動も多様です。また、学習・生活・就職・留学などさまざまな分野で学生センターが存在し、学生同士の学び合い(ピア・サポート)の風土が根づいています。

\*デザイン・アート学部 2026年4月開設に向け設置届出予定。内容は予定であり、変更する場合があります。



衣笠キャンパス



大阪いばらきキャンパス



びわこ・くさつキャンパス

学部 17\* 研究科 22 学生数 38,000+

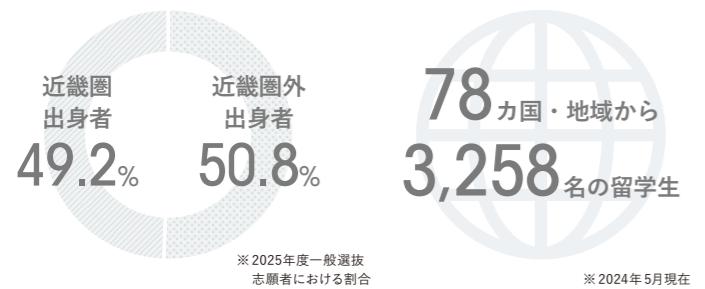
R RITSUMEIKAN  
UNIVERSITY | 2026 | 立命館大学



## Why Choose Ritsumeikan

### 多文化共生キャンパス

全国・世界中からさまざまなボーダーを越えて集まつた仲間が共に学んでおり、大学生活のあらゆる場面で交流しています。国内学生は約半数が近畿圏外から、また国際学生は78カ国・地域の出身者がキャンパスに集い、文化や価値観の違いなどを互いに認め合いながら、新たな価値を創造しています。



78  
カ国・地域から  
3,258  
名の留学生

※2024年5月現在

### 次世代研究大学

人類・自然・地域社会の発展に貢献する研究大学として、最先端の取り組みに挑戦しています。研究を推進するために多彩な研究所・研究センターを設置し、基礎から応用まで幅広い活動を展開すると同時に、国や地方公共団体、産業界との研究交流にも積極的に取り組み、成果を社会に還元しています。文部科学省から助成される競争的研究資金のひとつ科学研究費助成事業では、全国レベルの実績を誇っています。また、世界大学ランキングの向上に向けた取り組みも進めています。

### 科研費 (科学研究費助成事業)

西日本私立大学

1位

配分額 過去最高額  
16.3億円

QS世界大学  
ランキング2025  
国内私立大学

3位



「世界のトップ2%の科学者」に  
本学から36名がランクイン

米国スタンフォード大学とエルゼビア社による「世界のトップ2%の科学者」を特定する包括的なリスト「標準化された引用指標に基づく科学者データベース」(2024年度版)が更新され、立命館大学から36名の科学者が選出されました。さらなるイノベーションの創出、また地球規模で生じる社会問題への対処、教育への還元などを積極的に行ってています。

世界の  
トップ  
2%  
の科学者  
36  
名の教員が選出

THEインパクト  
ランキング2024  
総合評価  
国内私立大学

1位



## GUIDE TO GLOBAL LEARNING RITSUMEIKAN UNIVERSITY

世界の大学と日本の大学 両方で学ぶ、新たな時代に。



[お問い合わせ先]

立命館大学入学センター 国際入学課

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL: 075-465-8162 E-mail: hello@st.ritsumei.ac.jp

プログラム詳細、入試情報はこちら

[ritsnet.ritsumei.jp/english\\_degree\\_programs](http://ritsnet.ritsumei.jp/english_degree_programs)



# 世界の大学と日本の大学 両方で学ぶ、新たな時代に。



立命館大学は、海外の大学と立命館大学の両方で学ぶ学部・学科、

全てのカリキュラムを英語で学ぶ専攻やコースなど、新たなグローバル教育を展開しています。

国籍を超えた仲間が集い、日本にいながらにして海外で学んでいるような環境に身を置き、グローバル社会で活躍できる力を養います。

世界につながるあなたの未来は、立命館大学のキャンパスから始まります。

英語学位プログラムウェブサイト  
[ritsnet.ritsumei.jp/english\\_degree\\_programs](https://ritsnet.ritsumei.jp/english_degree_programs)



海外大学と立命館大学の学位を取得する		日本にいながら英語で学位を取得する			
学部 学科/専攻/コース	グローバル教養学部(GLA) P.4-5	国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学 国際連携学科(JDP) P.6	国際関係学部 グローバル・ スタディーズ専攻(GS) P.7	政策科学部 Community and Regional Policy Studies専攻(CRPS) P.8	情報理工学部 Information Systems Science and Engineering Course (ISSE) P.9
立命館大学とオーストラリア国立大学で学び、両大学の学位を取得できる学部（デュアル・ディグリー・プログラム）です。リベラル・アーツの名の通り、文理にまたがるさまざまな学問の基礎を体系的に学びます。	日本とアメリカで2年ずつグローバル国際関係学を学び、修了後は、アメリカン大学と立命館大学が連名で1つの共同学位を授与する学科（ジョイント・ディグリー・プログラム）です。	全ての授業・ガイダンスが英語で行われ、4年間、英語のみで国際関係学を学ぶことができる専攻です。2025年4月現在、約30カ国・地域から集まった学生が学んでいます。	少人数ながらも留学生が約9割を占め、英語で政策科学を学び、英語のみで卒業可能な専攻です（外国语科目を除く）。グローバルな視点と政策実践力を持った人材育成を目的とし、現代社会で生じる政策課題に対する問題解決能力の習得を目指します。		
取得できる学位（学士）	グローバル教養学（立命館大学） アジア太平洋学（オーストラリア国立大学）	グローバル国際関係学 (立命館大学、アメリカン大学共同学位)	国際関係学（立命館大学）	政策科学（立命館大学）	工学（立命館大学）
キャンパス	大阪いばらきキャンパス（大阪） キャンベラ（オーストラリア）	衣笠キャンパス（京都） ワシントンD.C.（アメリカ）	衣笠キャンパス（京都）	大阪いばらきキャンパス（大阪）	大阪いばらきキャンパス（大阪）
入学時期	4月／9月	4月	4月／9月	9月	4月
対象となる入試方式	<b>4月入学</b> <ul style="list-style-type: none"><li>帰国生徒（外国学校就学経験者）入学試験（1期、2期）</li><li>AO選抜入学試験（10月選考、12月選考）</li><li>AO英語基準入学試験</li></ul> <b>9月入学</b> <ul style="list-style-type: none"><li>AO英語基準入学試験</li></ul>	<b>4月入学</b> <ul style="list-style-type: none"><li>帰国生徒（外国学校就学経験者）入学試験（1期、2期）</li><li>AO選抜入学試験（10月選考、12月選考）</li><li>AO英語基準入学試験</li></ul>	<b>4月入学</b> <ul style="list-style-type: none"><li>AO選抜入学試験</li><li>AO英語基準入学試験</li><li>一般選抜IR方式（英語資格試験利用型）</li></ul> <b>9月入学</b> <ul style="list-style-type: none"><li>AO英語基準入学試験</li></ul>	<b>9月入学</b> <ul style="list-style-type: none"><li>AO英語基準入学試験</li></ul>	<b>4月入学</b> <ul style="list-style-type: none"><li>AO選抜入学試験</li><li>AO英語基準入学試験</li></ul>
授業料（2025年度）	春学期：1,150,000円、秋学期：1,150,000円 ※別途入学金が必要です。 ※2026年度入学者に適用する学費は改定する可能性があり、2025年6月下旬に決定する予定です。最新の情報は、立命館大学の入試情報サイト（ <a href="https://ritsnet.ritsumei.jp/fee/cost.html">https://ritsnet.ritsumei.jp/fee/cost.html</a> ）をご確認ください。	立命館大学 春学期：699,400円、秋学期：699,400円  アメリカン大学（2回生秋学期～4回生春学期） 1セメスター：\$30,135 (12～17.5単位)  ※アメリカン大学の学費は毎年変動します。	春学期：699,400円、秋学期：699,400円  立命館大学海外留学チャレンジ奨学金※ 1学期50万円を最大2年間（4学期間）支給（総額200万円）  授業料減免制度※ 上記の奨学金に加え、アメリカン大学で学修する最初の1年間（2学期間）、授業料（学費）の30%相当が減免されます。その後も、一定の成績条件を満たせば、授業料減免を継続して受けすることが出来ます。  ※これらの奨学金の内容は変更される場合があります。またこれらの奨学金は併給できますが、立命館大学が定める他の奨学金とは併給できない場合があります。	春学期：647,100円、秋学期：647,100円  海外留学対象プログラムへの参加者全員に支給される奨学金制度やその他の奨学金制度があります。	春学期：860,700円、秋学期：860,700円  海外留学対象プログラムへの参加者全員に支給される奨学金制度やその他の奨学金制度があります。  +R学部奨学金 毎年12月に1回生から4回生の優れた研究成果を発表する場として開催されるPSアカデミック・フェスタ。政策科学部での1年間の学びの集大成であるこの研究発表会の入賞者に2万円～4万円が支給されます。
給付制奨学金	<b>グローバル教養学部海外教学プログラム奨学金*</b> このプログラムでオーストラリア国立大学に留学する者全員に70万円が支給されます。  <b>立命館大学海外留学チャレンジ奨学金*</b> このプログラムでオーストラリア国立大学に留学する者全員に30万円が支給されます。  ※これらの奨学金の内容は変更される場合があります。またこれらの奨学金は併給できますが、立命館大学が定める他の奨学金とは併給できない場合があります。				

# グローバル教養学部

## グローバル教養学科

College of Global Liberal Arts

GLA [大阪いばらきキャンパス]



### デュアル・ディグリー・プログラム

世界の名門大学であるオーストラリア国立大学 ANU College of Asia and the Pacific と提携し、4年間で立命館大学とANUの2つの学位取得を目指すデュアル・ディグリー・プログラム<sup>※</sup>を実施しています。条件をクリアすると、卒業時に立命館大学の学士（グローバル教養学）とANUの学士（アジア太平洋学）が取得できます。

※ANU TEQSA Provider ID: PRV12002 (Australian University) | ANU CRICOS Provider Code: 00120C

### オーストラリア国立大学（ANU）

1946年設立。首都キャンベラに位置するオーストラリア唯一の国立大学です（学生約19,000名が在籍）。QS世界ランキングでは総合評価で世界30位（2025年度）、科目別ランキングの政治分野において世界8位（2024年度）にランクインするなど、世界でも上位に格付けされており、さまざまな分野で活躍する学者や著名人を多く輩出していることでも有名です。グローバル教養学部とパートナーを組むANU College of Asia and the Pacificは、アジア・太平洋地域研究のスペシャリストが数多く集まる、英語圏で最大規模の研究拠点です。また、キャンベラは多文化都市としても有名です。ANUにも約4,500名（2023年度）の留学生が在籍しています。緑豊かな落ち着いた雰囲気は、勉強に集中しやすい環境としても優れています。



#8  
in the world for Politics  
QS2024



#30  
in the world  
QS2025

### 学びの流れ

学生は、立命館大学大阪いばらきキャンパス（OIC）で3年間を過ごし、オーストラリアのキャンベラにあるANUアクションキャンパスに1年間留学します。4月入学の場合は、2年目の秋学期から3年目の春学期まで、9月入学の場合は、3年目の1年間、ANUで学びます。留学前後のセメスターは、OICで立命館大学とANUの科目を同時に履修し、4年間で両大学の学位取得を目指します。なお、2回生から始まるANUの科目を履修するためには、ANUによる入学審査を受ける必要があります。

※ANUによる入学審査の詳細は、グローバル教養学部ウェブサイトでご確認ください。

カリキュラムの  
詳細はこち  
ら

at RU at ANU

Year 1		Year 2		Year 3		Year 4	
Spring 1	Fall 2	Spring 3	Fall 4	Spring 5	Fall 6	Spring 7	Fall 8
RU Courses	RU + ANU Courses	ANU Courses		RU + ANU Courses			

### 4月入学

Year 1		Year 2		Year 3		Year 4	
Fall 1	Spring 2	Fall 3	Spring 4	Fall 5	Spring 6	Fall 7	Spring 8
RU Courses		RU + ANU Courses		ANU Courses		RU + ANU Courses	

### 9月入学

Year 1		Year 2		Year 3		Year 4	
Fall 1	Spring 2	Fall 3	Spring 4	Fall 5	Spring 6	Fall 7	Spring 8
RU Courses		RU + ANU Courses		ANU Courses		RU + ANU Courses	

### ANUによる入学審査

立命館大学（RU）に入学後、32単位の受講を終えた学期末（原則として2セメスター目の終了時）において、「英語要件」と「成績要件」を満たしている学生は、ANUによる入学審査を受けることができます。入学が許可された場合、ANUの科目の履修を開始することができ、引き続き、両大学の学位取得を目指します。ANUによる入学審査は、立命館大学在籍中に1回のみ実施され、要件を満たしていない場合およびANUによる審査により不合格となった場合は、シングル・ディグリー・トラックであるRU専攻において、立命館大学の「学士（グローバル教養学）」の学位取得を目指すことが可能です。「英語要件」「成績要件」の詳細は、グローバル教養学部ウェブサイトでご確認ください。

グローバル  
教養学部ウェブ  
サイトはこち  
ら

### プログラムの特色

知識を活かすための知の技法を学ぶ、世界に通ずるリベラル・アーツの学び

立命館大学のカリキュラムでは、「リベラル・アーツ」の名のとおり、文理にまたがるさまざまな学問の基礎が体系的に学べます。哲学、歴史学、政治学、経済学、教育学、社会学、カルチャル・スタディーズ、国際関係論、情報工学、障がい学、経営学、デザイン学、心理学、持続可能な社会、言語学などの学びを通じて、知識を社会発展や問題解決に活用するための力を徹底的に鍛えます。また、卒業後の進路を見据えて、文理にまたがるさまざまな科目を選びながら、自分に合った学修スタイルをテイラーメイドで編み出していくことができます。

哲学	歴史学	政治学	経済学	教育学
社会学	カルチャル・スタディーズ	国際関係論	情報工学	障がい学
経営学	デザイン学	心理学	持続可能な社会	言語学

### ANU College of Asia and the Pacificによるアジア太平洋地域の専門的な学び

オーストラリア国立大学 ANU College of Asia and the Pacific では、世界やアジア太平洋地域の政治学、安全保障、外交、戦略立案に関する研究、教育、政策分析で世界をリードする Coral Bell School of Asia Pacific Affairs（通称：Bell School）で、アジア太平洋地域についての学びを深めます。今日の国際政治と世界経済を分析するための一流の知識を習得するとともに、卒業後のキャリアにもつながる豊かな人脈を築きます。

### 全ての授業をアクティブ・ラーニング型で実施

全ての授業は、教員とのコミュニケーションを重視した講義形式と、世界中から集まった学生同士のディスカッションやグループワークを主体としたチュートリアルを組み合わせたアクティブ・ラーニング型で実施されます。



### OICグローバルハウス

OICグローバルハウスは、大阪いばらきキャンパス（OIC）内に2019年に竣工した分林記念館の中にある国際寮です。グローバル教養学部の学生が中心となって入寮し、「キャンパスの中で、共に学び、共に暮らす」生活を送っています。個室タイプの寮室を200室用意するとともに、茶室・日本庭園・能舞台を備えた多目的ホール等、日本文化が感じられる多様な国際交流の場を設けています。



※ANUウェブ  
サイトはこち  
ら

### ANU Accommodation

ANU College of Asia and the Pacificの一部である Coral Bell School of Asia Pacific Affairsの学舎は、オーストラリアの首都キャンベラにあり、公園のようなキャンパスの中になります。また、ANUには食事付き・無などのさまざまなタイプの学生寮があり、留学時はその中の一つに入寮することになります。詳細は、ANUウェブサイト<sup>\*</sup>をご確認ください。



※ANUウェブ  
サイトはこち  
ら

# 国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学 国際連携学科

College of International Relations  
American University-Ritsumeikan University Joint Degree Program

JDP [衣笠キャンパス]

## ジョイント・ディグリー・プログラム

立命館大学国際関係学部とアメリカン大学 School of International Service が、共同で1つのカリキュラムを提供し、そのカリキュラムを修了した学生に両大学が共同で1つの学位（学士「グローバル国際関係学」）を授与するプログラムです。

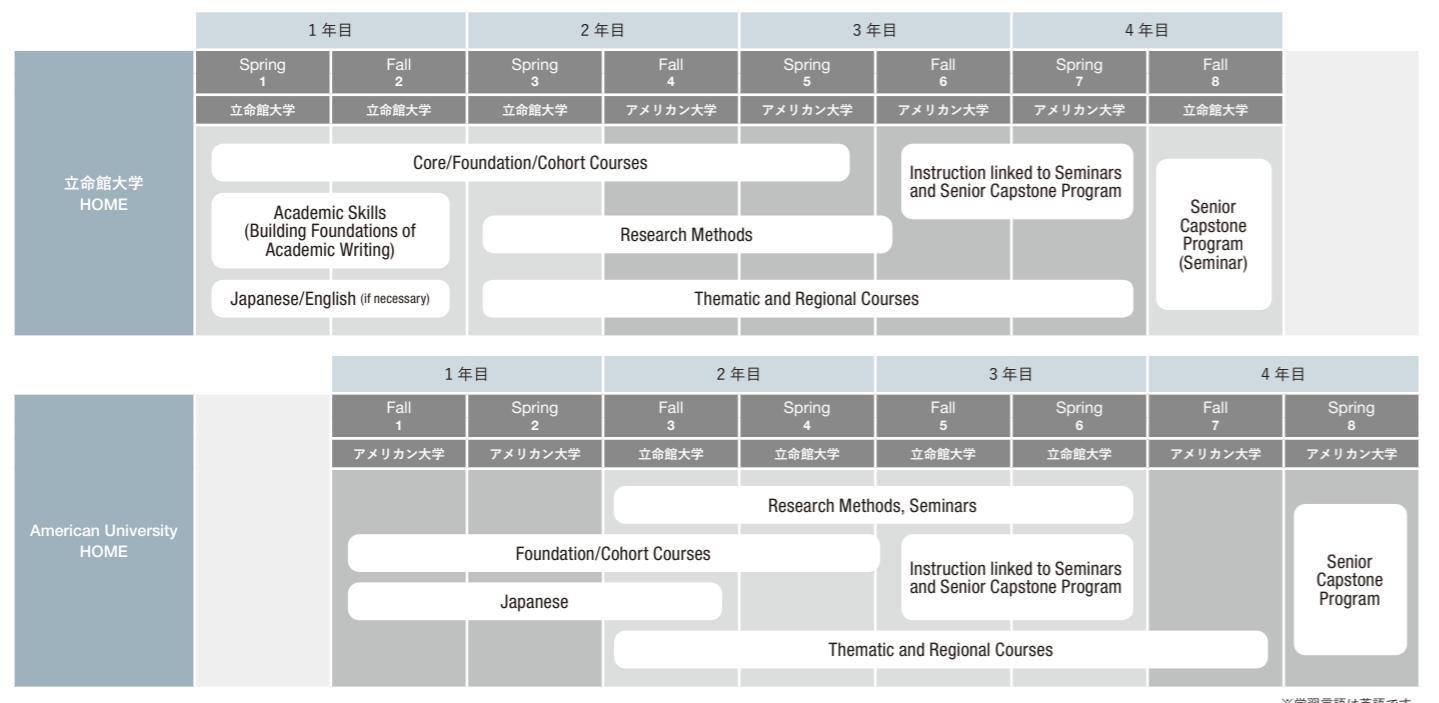


## アメリカン大学

アメリカン大学は1893年創立の名門私立大学。 School of International Service は、国際関係学のスクールとしては全米で最大規模を誇ります（約3,000名の学生が在籍）。ワシントンD.C.のキャンパスには、約130の国・地域から留学生が集います。“Foreign Policy”誌の2024年度国際関係学全米大学ランキングでは、学部・大学院修士課程のいずれも全米8位と高く評価されています。

## 学びの流れ

立命館大学で学修を開始する学生（RU Home Students）とアメリカン大学で学修を開始する学生（AU Home Students）が共に学びます。RU Home Students は、最初の1年半を立命館大学で、その後の2年間をアメリカン大学、最終の半年を立命館大学で学びます。当プログラムは立命館大学とアメリカン大学の間で丁寧にデザインされており、統合された1つのカリキュラムで学ぶため、研究指導等も日・米両大学の教員が連携して一貫性のある指導を行います。



※学習言語は英語です。



# 国際関係学部 国際関係学科 グローバル・スタディーズ専攻

College of International Relations  
Global Studies Major

GS [衣笠キャンパス]

## 世界から集う留学生と共に英語で学び 日本と世界の架け橋を目指す

2011年に開設したグローバル・スタディーズ専攻は、英語で国際関係学を学ぶ専攻です。カリキュラムは35年を超える歴史をもつ国際関係学部の体系的な学びを英語で可能にしたもので、日々の学びを活かして長期留学プログラムに参加し、世界で国際関係学を追求する学生も多いです。

## プログラムの特色

### グローバル国際関係学とは

これまでの「国際関係学」は、西洋、欧米的視点によって発展してきましたが、近年の急速なグローバル化に伴い、非西洋的視点の必要性が国際関係学の世界でも議論されています。

「グローバル国際関係学」とは、これまでそれぞれの国で国際関係学を研究してきた、アメリカン大学と立命館大学が、西洋・非西洋それぞれの視点からこれまでの国際関係学を考え直していく、これまでに無い新しい挑戦です。

### 日・米両国の特色を活かした学習指導

ジョイント・ディグリー・プログラムでは、立命館大学とアメリカン大学の教員・職員が連携して、一貫性のある学習指導を行います。

両大学のアドバイザーが連携しながらそれぞれの学生に丁寧なアカデミック・アドバイジング（履修指導）を行い、学生1人1人に合わせて丁寧な研究指導を行うなど、日・米両国それぞれの利点、特色を活かした学修支援を行います。



### 国際政治の中枢、ワシントンD.C.と 文化・学術都市、京都で学ぶ

ワシントンD.C.では、インターンシップやゲストレクチャ等、国際政治の中枢を体感できる環境でのアクティブラーニングを行います。このプログラムの学生の約9割が、ワシントンD.C.でインターンシップを経験しています。京都では、右記のグローバル・スタディーズ専攻の学生や、立命館で学修中のAU Home Studentsと共に、日本にながらも留学しているような環境下で全て英語で行われる授業を受講します。2つの国際都市で日米両方の視点から国際関係学を修得できるのが特徴です。



# Community and Regional Policy Studies 専攻

College of Policy Science  
Community and Regional Policy Studies Major

CRPS [大阪いばらきキャンパス]

グローバルな環境で、  
政策科学を英語で学ぶ

2013年9月に開設したCommunity and Regional Policy Studies専攻(CRPS)は、全ての授業が英語で行われ、英語のみで卒業可能な専攻です(外国語科目を除く)。1学年40名定員と少人数で、10カ国以上の国・地域からの留学生が約9割を占める国際色豊かな環境で、きめ細やかなサポートを受けることができます。グローバルな視点と政策実践力を持った人材育成を目的とし、現代社会で生じる政策課題に対する問題解決能力の習得を目指します。

1回生では、PBL (Project/Problem-based Learning) の基礎となる批判的思考力や政策科学の研究に必要な基礎知識を身につけます。さらに2回生時には、グループを組んでフィールド調査を実施し、これらの経験を基礎としてプログラムに継続して取り組むなかで、政策科学の研究に必要な知識や思考力を深め、3回生で「Policy Seminar」、4回生時には「Case Study Seminar」を受講し、自らの研究テーマについて卒業論文を執筆することを目指します。

## プログラムの特色

### さまざまなバックグラウンドを持った教員

政策科学部は、経営学、経済学、社会学、政治学、法学をはじめとした社会科学だけではなく、自然科学、環境、都市計画などさまざまなバックグラウンドを持った教員で構成されています。多角的視野で問題アプローチを実践するとともに、学生のみなさんが興味を持ったさまざまな分野に対応できる体制となっています。

### 実践的な学びを通して、問題を発見し、解決する

実践的な実習に重点を置き、日本国内または海外でのフィールド調査の機会を豊富に設けています。社会調査や現地調査を通して得た知見と、授業で学ぶ理論を交互にフィードバックすることで、社会における問題に対して、より具体的で重層的な解決策が提示できます。調査・研究の1年間の集大成として、回生ごとに発表の場が設けられており、それぞれの最優秀者が研究成果を発表する研究発表会、PSアカデミック・フェスタを毎年実施しています。

### [2025年度 Introduction to On-site Research Summer Session]

フィリピン、タイ、日台共通課題研究、カナダ、日韓相互理解、ベトナム、南信州、京都市右京区、京都府芦生



### 日本語でも学び、専門性を深める

日本語で授業を行う政策科学専攻の講義を一部受講することができます。また条件を満たせば、政策科学専攻のゼミ受講も可能です。英語での履修を中心としながらも、関心のあるテーマについては日本語で学び、より一層知識を深めることができます。



### Core Programs

Sustainable Urban Policy	Urban Planning for Sustainable Cities, Community Safety, Housing and Policy, Disaster Mitigation, Systems Analysis, Environmental Education, Nature Conservation
Regional Economy and Development	Development Economics, Regional Development, Economic Institutions, Public Economics, International Trade and Finance
Multi-level Governance	Inter-Government Relations and Cooperation, Global Public Policies, Public Management, Constitutional Law, Social Welfare Policies

# Information Systems Science and Engineering Course

College of Information Science and Engineering  
Information Systems Science and Engineering Course

ISSE [大阪いばらきキャンパス]



日本人学生と留学生が  
共に最先端のICT分野を英語で学ぶ

現代の情報通信技術 (ICT) にかかわる分野は、多くの国・地域から集まった多様な人材によって目覚ましい進歩を遂げています。Information Systems Science and Engineering Course (ISSE) の教育目的は、この急速に進歩するICT分野で、国際的なチームのメンバーとして、イノベーターとして、そしてリーダーとして活躍できる人材を育成することにあります。

ISSEコースは英語で実施される授業のみで卒業可能なコースです。1回生春学期から3回生春学期まではPBL科目 (Project-Based Learning: 課題解決型学習)を中心に基盤専門科目を学び、3回生秋学期からは専門科目を通じて学びを深めつつ卒業研究に取り組みます。こうした4年間の学びにより、学生はグローバルな環境で実践的に問題解決ができるようになります。

情報理工学部では、学生全員が3回生春学期中に所属する研究室を決定し、秋学期から卒業研究に取り組みます。ISSEコースには魅力あふれる6つの研究室があり、ICT分野における最先端の研究活動を日々行っています。

Visual Information Engineering Laboratory

Intelligent Computer Entertainment Laboratory

e-Society Laboratory

Advanced Computer Graphics and Digital Human Laboratory

Affective Engineering and Computer Arts Laboratory

Digital Governance Systems Laboratory



### 学びの流れ

回生	概要	主な履修科目	
1回生 春学期	自然科学、数学、語学などの基礎学力、情報技術者としての正しい倫理観、情報科学における各分野の基礎知識を修得することを目指します。	PBL 1	Introduction to Experimentation
1回生 秋学期	ISSEコースの専門分野を学ぶために必要な基礎を固めるとともに、プログラミング言語およびその技法に関する知識、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの分野に関する基礎的な知識を修得します。	PBL 2	Programming Practice 1
2回生 ～ 3回生 春学期	情報系の専門科目を学ぶために必要な応用数学系の科目の履修をさらに進め、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの分野における基本的な原理や理論を体系的に理解するための共通専門科目を履修します。	PBL 3～5	Data Structures and Algorithms
3回生 秋学期 以降	自身のキャリアを意識した専門科目や専門技術の修得を目指すとともに、卒業研究に取り組みます。	Graduation Research 1～3	Data Visualization
		Data Science	Introduction to Robotic Systems

